

2023

議会だより

# ふそく

第256号

5月臨時会

6月定例会



5月31日に行われた「チャレンジデー」のひとコマ

## 主な内容

- 新しい議会構成になりました・・・・・・・・・・2P
- ここが聞きたい 6月定例会一般質問・・・・6～17P
- キラリ まち人 紹介・・・・・・・・・・18P

発行／扶桑町議会 編集／議会だより編集特別委員会

〒480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字天道330 TEL：0587-93-1111 FAX：0587-92-1381 E-mail:gikai\_sc@town.fuso.lg.jp 発行日／令和5年8月1日

# 5月臨時会



議 長  
大河原 光雄



副議長  
丹羽 友樹



監査委員  
杉浦 敏男

## 新しい議会構成になりました

令和5年5月16日(火)に開催された臨時会において、正副議長を始め、委員会正副委員長などを改選しました。新しい議会構成は、次のとおりです。

### 議会運営委員会(8名)

◎小室 輝義 ○高木 義道 佐藤智恵子 澤田 憲宏  
和田 佳活 荒木 孝三 伊藤 猛 近藤 裕

◎委員長  
○副委員長

### 総務経済常任委員会(8名)

◎荒木 孝三 ○近藤 裕  
杉浦 敏男 千田 利明  
丹羽 友樹 小室 輝義  
和田 佳活 大河原光雄

### 福祉教育常任委員会(8名)

◎澤田 憲宏 ○間宮 幹男  
高木 義道 矢嶋 恵美  
佐藤智恵子 兼松 伸行  
千田 勝文 伊藤 猛

### 議会改革特別委員会(全員)

◎矢嶋 恵美 ○高木 義道

#### ※議会運営部会(8名)

◎千田 勝文 ○兼松 伸行  
高木 義道 杉浦 敏男  
千田 利明 小室 輝義  
伊藤 猛 間宮 幹男

#### ※広報広聴部会(8名)

◎丹羽 友樹 ○近藤 裕  
矢嶋 恵美 佐藤智恵子  
大河原光雄 澤田 憲宏  
和田 佳活 荒木 孝三

※部会は◎部会長 ○副部会長

### 予算決算特別委員会(全員)

◎千田 勝文 ○近藤 裕

### 議会だより編集特別委員会(6名)

◎佐藤智恵子 ○近藤 裕 澤田 憲宏  
和田 佳活 荒木 孝三 間宮 幹男



## 6月議会の概要

令和5年6月定例会は、2日から21日まで開催。  
今回の定例会では、一般会計補正予算・特別会計補正予算を始め、条例の一部改正や陳情など全41案件の審議を行いました。

### 一般会計補正予算

一般会計補正予算(第4号)は、新型コロナウイルスワクチン接種事業費、空家等対策計画見直し業務など歳入歳出それぞれ8109万5千円を追加し、総額115億4388万7千円となっています。主な内容は、次のとおりです。

#### 主な事業

(万円未満切り捨て)

新型コロナウイルスワクチン接種事業費

7879万円

新型コロナウイルスワクチン接種における、通信運搬費、集団接種会場運営委託料、医療機関での予防接種費委託料等の増額補正をするものです。

空家等対策計画見直し事業費

299万円

「空家対策特別措置法」が管理不全空家の新設、および固定資産税の減免解除、所有者の責務強化・空家の活用拡大・特定空家の除却などの円滑化に向け改正され、扶桑町空家等対策計画の見直しが必要となり委託するものです。

在宅療養支援事業費

32万円

若年(40歳未満)がん患者が在宅で療養するときに利用する居宅サービス等の費用の一部を助成するものです。

地域クラブ活動推進事業費

196万円

休日の中学校の部活動の一部を地域移行として、総合型地域スポーツクラブ(NPO法人 わつと楽らくスポーツふそう)に委託するものです。

### 工事請負契約の締結

山名小学校体育館大規模改修工事

請負金額 7689万円

完了 令和6年1月31日  
請負契約者 株式会社シンエイライフ

契約の方法 4名の制限付一般競争入札

庁舎屋上防水・外壁改修工事

請負金額 7557万円

完了 令和6年1月31日  
請負契約者 大数建設株式会社

契約の方法 6名の指名競争入札

## 5月臨時会開催

令和5年5月16日(火)に臨時会を開催し、人事案件5件、同意案、補正予算、承認案各1件の審議を行いました。

(議会構成は2頁参照)

### 一般会計補正予算

一般会計補正予算(第3号)は、歳入歳出それぞれ1億5209万5千円を追加し、総額114億6279万2千円となっています。主な内容は次のとおりです。

#### 主な事業

(万円未満切り捨て)

価格高騰重点支援給付金支給事業費

8328万円

「住民税均等割が非課税」の世帯、令和5年1月から9月までの収入が減少し「住民税均等割が非課税相当」の収入となった世帯に、1世帯あたり、3万円支給するものです。

丹羽広域事務組合負担金

4719万円

町民の生活支援のため、水道料金の基本料金を6月、8月検針分(4カ月分)免除するため、丹羽広域事務組合へ扶桑町分を負担金として出すものです。

子育て世帯生活支援特別給付金支給事業費

1611万円

食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受けたひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯に対し、対象児童1人につき、5万円支給するものです。

専決処分の承認を求めることについて

一般会計補正予算(第2号)

主な内容は次のとおりです。

(万円未満切り捨て)  
保育園・小中学校利用者負担額(給食費)免除事業費

5645万円

4月から7月(4カ月分)の給食費を全額免除するものです。

# 各常任委員会

## こんなこと質問しました

### 総務経済常任委員会

#### 一般会計補正予算(第4号)

#### 農業振興対策事業費(臨時)

**問** 農業振興対策事業費の300万円ほどの減額は、国庫補助の減額に伴うものことだが、この事業は3月議会で承認している。本当に必要な事業であれば、一般会計から繰り入れをしてでもやるべきだと思うが。

**答** 今回の農業地域計画について、補助金に頼らずにどこまでやるかということをもう一度精査した。最終的に一部は委託しないとやれない部分はあるものの、それ以外は職員で対応することで、今回の減額補正ということになっている。

#### 扶桑町税条例の一部を改正する条例について

**問** 森林環境税について、一人あたりとなっているが、世帯単位でなく、家族5人いれば5人に課税されるのか。

**答** 個人に対して課税され、個人住民税の均等割に合わせ一人につき1000円

を徴収する。ただし均等割が課税されない方は対象外である。

#### 工事請負契約の締結について

**問** 山名小学校体育館大規模改修工事の欠損爆裂部というのは、どのような欠損状態か。

**答** クラックではなく、比較的大きい、欠落部分7カ所を確認しており、その補修を行うものである。



(山名小学校体育館)

議案11件、陳情4件、全15件を審議しました。

### 福祉教育常任委員会

#### 一般会計補正予算(第4号)

#### 個人番号カード交付事業

**問** マイナンバーカードの不具合の情報は本町ではどうか。

**答** 特に聞いていない。

#### 予防費

**問** 新型コロナウイルスワクチンの5月8日以降の接種状況は。

**答** 対象者は65歳以上と基礎疾患のある方限定で、接種済者は約3500名で概ね35%である。

#### 地域クラブ活動推進事業

**問** この事業の経費は。

**答** 事務局への報酬、指導者バンク等のチラシを作る印刷製本費、クラブ活動を推進するためのスポーツ用品の購入、事務用品、指導者の謝金、指導者の交通費、指導者の保険料、口座振り込みや広報等折込手数料を計上している。ユニフォーム等は入っていない。

扶桑町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

**問** 町の職員が放課後児童クラブの支援員を指導する立場にある。職員が講習を受講していない、資格を持っていないということはいかなるものか。

**答** 職員は放課後児童クラブの認定研修を受講していないが、現在、保育士資格を有した職員が放課後児童クラブ事業の指導に従事しているので、十分な体制と考えている。



(部活動の様子)

議案8件、陳情3件、全11件を審議しました。

# 令和5年第3回(6月)扶桑町議会定例会 議員別審議結果一覧表

## ○賛否が分かれた案件

| 議案等  |                                                                   | 議決結果 | 桑政クラブ |       |      |      |      |      |      |      |      |      | 共産党  | 日本    | 公明党  | 新政クラブ |      | 無所属  |
|------|-------------------------------------------------------------------|------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|-------|------|------|
|      |                                                                   |      | 伊藤 猛  | 大河原光雄 | 兼松伸行 | 小室輝義 | 近藤 裕 | 澤田憲宏 | 杉浦敏男 | 丹羽友樹 | 間宮幹男 | 高木義道 | 荒木孝三 | 佐藤智恵子 | 千田勝文 | 千田利明  | 和田佳活 | 矢嶋恵美 |
| ◆議案  |                                                                   |      |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      |       |      |       |      |      |
| 第35号 | 扶桑町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について                                        | 可決   | ○     | －     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ●    | ●    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○    |
| 第38号 | 扶桑町介護保険条例の一部を改正する条例について                                           | 可決   | ○     | －     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ●    | ●    | ○     | ○    | ○     | ○    | ○    |
| ◆陳情  |                                                                   |      |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      |       |      |       |      |      |
| 陳情   | 最低賃金の大幅引上げと全国一律化、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出を求める陳情                   | 不採択  | ●     | －     | ●    | ●    | ●    | ※    | ●    | ●    | ●    | ○    | ○    |       |      |       |      |      |
| 陳情   | 公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情                    | 不採択  | ●     | －     | ●    | ●    | ●    | ※    | ●    | ●    | ●    | ○    | ○    |       |      |       |      |      |
| 陳情   | 住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情                        | 不採択  | ●     | －     | ●    | ●    | ●    | ※    | ●    | ●    | ●    | ○    | ○    |       |      |       |      |      |
| 陳情   | 地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情                                           | 不採択  | ●     | －     | ●    | ●    | ●    | ※    | ●    | ●    | ●    | ○    | ○    |       |      |       |      |      |
| 陳情   | 保育所職員の人材定着・確保のため保育士配置基準と公定価格を抜本的に改善し、離職しない保育職場の実現を求める意見書の提出を求める陳情 | 不採択  | ●     | －     | ●    | ●    | ●    | ※    | ●    | ●    | ●    | ○    | ○    |       |      |       |      |      |
| 陳情   | 介護・障害福祉職場の1人夜勤をなくし、複数配置をあたりまえにすることを求める意見書の提出を求める陳情                | 不採択  | ●     | －     | ●    | ●    | ●    | ●    | ●    | ●    | ●    | ○    | ○    | ●     |      | ○     |      | ●    |
| 陳情   | 「1年単位の変形労働時間制」導入のための条例制定ではなく、教職員の長時間過密労働解消のための施策を求める意見書の提出を求める陳情  | 不採択  | ●     | －     | ●    | ●    | ●    | ※    | ●    | ●    | ●    | ○    | ○    |       |      |       |      |      |

賛否状況 ○: 賛成 ●: 反対 \: 棄権 —: 議長は採決に加わらない ※: 討論者

### 陳情の反対討論 澤田憲宏議員

桑政クラブは扶桑町議会陳情取扱要領に従い、過去に採択、不採択の議決等があった陳情と同一趣旨の内容であるため、採択することは賛成はできない。

### 委員会での陳情に対する主な意見

- ・聞き置き案件と考える。
- ・何回出てきてもしっかりと国や県に伝えることが大事と考える。

# 令和5年第2回(5月)扶桑町議会臨時会 審議結果

## ○全員賛成で原案可決した案件

### 議案

- 令和5年度扶桑町一般会計補正予算(第3号)

### 承認案

- 専決処分の承認を求めることについて

### 同意案

- 扶桑町監査委員の選任について

### 選挙

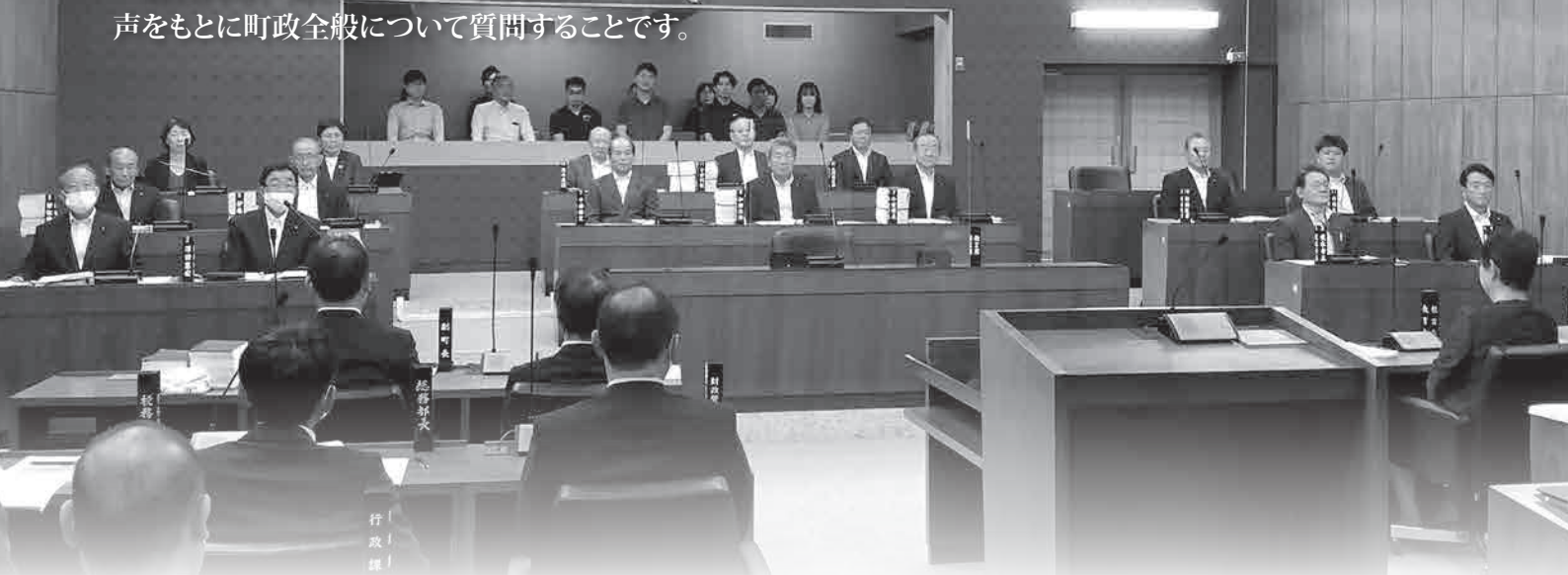
- 議長の選挙について
- 副議長の選挙について
- 常任委員会の委員長及び副委員長の選挙について
- 議会運営委員会委員の選任並びに委員長及び副委員長の選挙について
- 一部事務組合議会議員の選挙について



# 町政を問う

「ここが聞きたい これを言いたい」

一般質問は、議員が自身の考えや町民の皆様の声をもとに町政全般について質問することです。



| 質問者   | 件 名                                  | ページ |
|-------|--------------------------------------|-----|
| 澤田 憲宏 | 高齢者の健康寿命延伸 他1件                       | 7   |
| 矢嶋 恵美 | 子育て支援環境整備の充実                         | 8   |
| 和田 佳活 | 防災について 他1件                           | 9   |
| 佐藤智恵子 | 愛知県「休み方改革」について 他1件                   | 10  |
| 間宮 幹男 | 企業誘致の推進について                          | 11  |
| 兼松 伸行 | 扶桑町国民保護計画(改訂版)と扶桑町業務継続計画について         | 12  |
| 丹羽 友樹 | デジタルトランスフォーメーション(DX)について 他1件         | 13  |
| 千田 利明 | 第5次扶桑町総合計画にみる生涯学習と文化行政施策の在り方について 他1件 | 14  |
| 千田 勝文 | 自然環境保全整備等について                        | 15  |
| 荒木 孝三 | 特定健診・後期高齢者健診について 他2件                 | 16  |
| 高木 義道 | チョイソコふそうについて 他2件                     | 17  |

令和5年6月8日9日  
11議員が登壇し、  
一般質問を行いました。



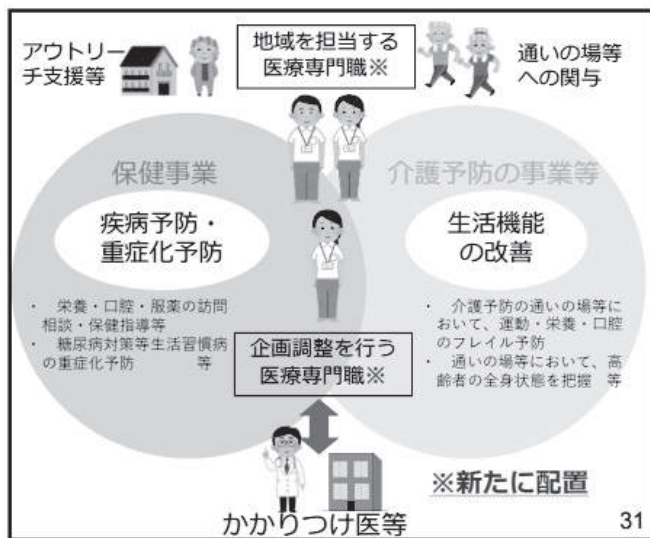
桑政クラブ  
澤田憲宏 議員

# 保健事業と介護予防の一体的実施は

**答** 令和6年度開始に向け進めていく

- 問** 人員体制は。
- 答** 健康福祉部長 令和6年度の事業開始時点において企画・調整をする正職員の医療専門職1名と地域を担当する医療専門職の協力が必要だが、現在、戸籍保険課にはいない。関連部署と連携、協力しながら進めていく。
- 問** 事業実施計画は。
- 答** 健康福祉部長 具体的な内容は未定であるが、個別的支援は健康状態が不明な高齢者の状態把握・受診勧奨等、必要なサービスへの接続を、また、通いの場等への積極的な関与は既存の健康教室等の健康相談やサービスの利用勧奨を計画に盛り込む。
- 問** 連携のあり方は。
- 答** 健康福祉部長 戸籍保険課が介護保険を担当する長寿介護課などの関係機関と連携協力することが重要である。地域包括支援センターも協議に加わっていく。

▼一体的実施イメージ図



(厚生労働省保険局高齢者医療課 基礎資料集より)

- 問** 介護フレイル予防の充実
- 答** 健康福祉部長 専門職による地域の中での取り組みは。
- 問** 健康福祉部長 高齢者の集いの場である地域サロンに社会福祉協議会から指導員を派遣している。今年度からは理学療法士を派遣する事業を開始している。
- 問** フレイルなどで来られなくなる人への取組は。
- 答** 健康福祉部長 健康推進課では5月から広報無線放送のラジオ体操で保健師による体操のコツと効果を紹介し、自宅でも健康の維持増進の機会を提供している。個別には地域包括支援センターが聞き取りを行っている。また地域から支援の必要な方の情報が寄せられた場合は専門職による状況確認を行い、対応している。

- 問** 国道41号バイパス高雄道塚交差点の渋滞対策は
- 答** 産業建設部長 現状とその要因は。
- 問** 産業建設部長 名古屋方面に向かう利用者が多く、右折車線に車が多く滞留し、朝夕のピーク時には高雄中郷東押しボタン信号の途中まで混雑している。要因は右折がスムーズに行えないことや町道側の信号機に右折矢印がないため、1回の青信号で通過できる車両が少ないことが考えられる。
- 問** 対応策は。
- 答** 産業建設部長 犬山警察署に確認したところ、渋滞の状況は把握し、右折信号の設置を愛知県警察本部で検討しているとの回答である。本町としても右折帯の前にあるゼブラゾーンの表示を見直し、右折車線を延伸することで右折車滞留による後続車の進行阻害を抑制する。

# 利用しやすい土曜日・休日保育を



無所属  
矢嶋恵美 議員

## 答 利用者に寄り添う環境整備を図る

**問** 昨年度から事業が開始された土曜日・休日保育が1年を経過した。現状はどうか。

**答 教育部長** 午前7時30分より午後4時30分までの預かりで、土曜日保育は、登録人数78名、平均利用人数26名、休日保育登録人数16名、平均利用人数6名である。

**問** 登録人数と利用人数の数字の乖離の分析は。

**答 教育部長** 利用する側の都合もあるが、利用時間の不満、利用手続きの負担などから利用しづらいと感じる方もあると推察される。

**問** 正職員での働きや、サービス業などは、4時30分迄のお迎えは厳しいのでは。

**答 教育部長** アンケート調査では、「利用時間の延長があれば利用したい」「現在の利用時間では、預けられない」などの意見があった。保育時間の延長や受け入れ体制の整備を図る必要がある。

**問** 利用する際に1か月前や前月の10日迄に申請し、同時に就労証明の再度提出など負担が多いと思われる。就労世帯が多い中、制度はあるが、使いやすいサービスとなっているか。

**答 教育部長** 現在使いづらいと感じている利用者もいることを踏まえ利用時間の延長や利用申請の簡素化など利用しやすいものに改善し、働く親に必要な保育サービスとなっているか検証し、多様なニーズに合わせ使いやすく利用者に寄り添う環境整備を図る。

**問** 困った時こそ安心してきる子育て環境の充実を進め、扶桑町の住みよさのアドバランとなつて発信していただきたい。町長の考えを伺う。

**答 町長** 社会が急速に変化している中で、いろいろな複雑な事情を抱えて子育てをしている方やひとり親家庭も増えていて、事務的な面で改善できる

ことはすぐに改善し、人的な保育士確保もしづらいつつあるところだが、子どもの安全を確保しつつ安心して働きのながら子育てできるようにしていく。

**保育園午睡簡易ベッドの導入を**

**問** 午睡簡易ベッドへの現状認識と利便性、有効性をどう考えるか。

**答 教育部長** 新型コロナウイルス感染症拡大



(午睡用簡易ベッド「児童センターこどもプラザ」)

大の頃から近隣自治体でも採用するところがある。布団を準備し持ち運ぶ保護者の負担軽減やアレルギー、感染症予防など衛生面からも有効であると認識している。

**問** 子育て環境のさらなる充実施策で、アピールできるのでは。

**答 教育部長** 費用対効果について研究し保育環境の充実を検討する。





新政クラブ  
和田佳活 議員

# 地域の課題等の情報収集は

## 担当職員が駐在員宅に出向き収集

**自治会・コミュニティの活動**

**問** 地域共生社会を作る、自治会・コミュニティの活動が徐々に復活し、地域情勢が少しずつ変化していく時、地域の課題等の情報収集は。

**答 生活安全部長** 毎年行っていた「駐在員会議」がコロナ禍以降中止を余儀なくされた。

部長・課長・主幹等の管理職が2人1組担当で、駐在員宅に出向き「依頼・報告・連絡」など直接お伝えする方法に変えている。顔を合わせてのやり取りの中、会議では聞きにくいことが職員に聞ける、逆に職員は地域の要望や困りごとを聞くことができ、コミュニケーションが図れる。今後も担当職員が地域に出向き、情報収集を行い課題の整理、問題の解決を行っていく。

### 災害時の対応は

**問** 動物に対して多様な価値を有する住民が、共

に災害を乗り越えられるよう、飼い主による災害時の適正飼養を支援することが自治体に求められている。ペット同行避難所開設の指針は。

**答 生活安全部長** 問題点などを検証しながら同行避難に対応できるように、早急に取りまとめている。

**問** 災害時「住民の命と尊厳を守る」のが私たちの最大の使命である。地域防災計画の定めにより、避難行動要支援者について円滑な避難を図る観点からも「個別避難計画」の作成が、努力義務とされている。作成状況は。

**答 健康福祉部長** 要支援者名簿の登録申請があった際、本人からの聞き取りをもとに「緊急時の連絡先・避難の際の支援者・自宅の間取り・かかっている医療機関・治療中の疾患」などに加え、特に配慮が必要な支援はないか、個々の情報を記した「災害時要支援者台帳」を

作成している。

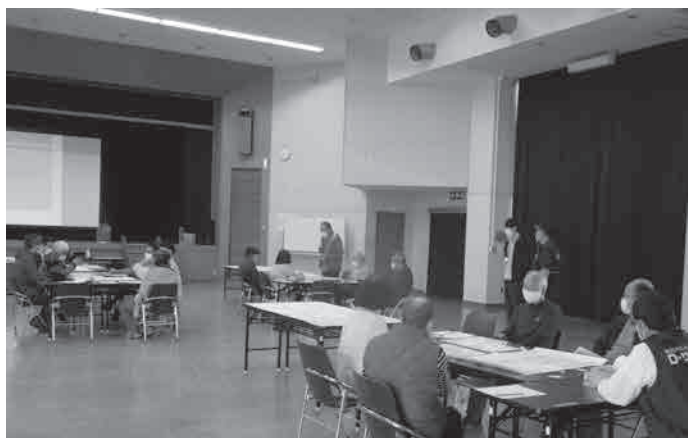
**問** 指定されている福祉避難所の関係者の協力を得られるようにすること、避難行動要支援者の事前マッチングで福祉避難所への直接避難の考え方が必要ではないか。

**答 健康福祉部長** 福祉避難所の規模を把握し、どこかの避難所に移ればよいのか事前マッチングが必要であり、迅速に福祉避難所を開設する上での職員への適切な教育に加

え、人員配置を行うことが必要である。「福祉避難所の設置運営マニュアル」を見直していく。

**問** 扶桑町に現在、43名の防災士がみえる。「自分たちの地域は地域で守る」自助と共助の活動が、各地域でさらに活発に展開されるよう「防災士資格取得補助金制度」の設立は。

**答 生活安全部長** 地域の防災力も増すことから、近隣市町の状況を調査し、検討する。



(自主防災会会長会議「避難所運営 HUG 体験」の様子)

# 医療的ケア者の非常用電源確保を



公明党

佐藤智恵子 議員

## 答 給付対象とできるよう進める

- 問** 人口呼吸器や痰吸引等電源が必要な方にとつて、自然災害等で停電すると命に関ってくる。電源確保のための支援体制が急がれる。非常用電源バッテリーは高額なため、購入補助ができないか。
- 答 健康福祉部長** 災害時の不安解消の一助として、「日常生活用具給付費支給事業」の対象とできるよう進めていく。
- 問** 本町における視覚障害者の現状は。
- 答 健康福祉部長** 視覚障害による身体障害者手帳所持者は65名。内訳として、18歳以下は2名。19歳から64歳の方は14名。65歳以上は49名。
- 問** 視覚障害者の情報取得には点字が広く知られているが、点字を読める人は全体の1割程度で、ほとんどの方は音声によるものが多い。公的書類や印刷物に、音声コードの普及を。
- 答 健康福祉部長** 情報提供の効率化に向け、導

入に向けた研究、検討を実施していく。

### 愛知県「休み方改革」

**問** 愛知県が推進する「休み方改革」の一つである「県民の日学校ホリデー」(※)と「ラーケーション」(※)について、町としての考え、方向性は。

**答 教育部長** 11月24日を「県民の日学校ホリデー」とし、勤労感謝の日から4連休となるよう計画し、実施の案内文書を保護者に配布した。「ラーケーション」の「日」に関しては、後期の始まる10月以降に2日以内で取得できるよう検討中である。

**問** 近隣市町の状況は。

**答 教育部長** 近隣市町も実施の方向で聞いている。



(家族で過ごす一日)

※「県民の日学校ホリデー」とは  
愛知県で11月27日を「愛知県民の日」として制定し、11月21日から27日までの1週間を「あいちウィーク」として、期間中の1日を学校や市町村が指定し学校休業日とする。

※「ラーケーション」とは  
ラーニング(学習)とバケーション(休暇)を組み合わせた造語で、保護者と子どもたちと一緒に社会学習を楽しむ日とし、子どもが学校を休んでも欠席扱いにならない。



間宮幹男 議員

## 都市計画マスタープランの推進は

**答** 都市政策課で企業誘致等に対応

**問** 「扶桑町都市計画マスタープラン」の推進状況は。

**答** 産業建設部長 扶桑

町では、平成6年度に最初のマスタープランが策定され、平成23年度と令和3年度に全面改定が行われ、現在に至っている。

今年度に機構改革を実施し、新たに企業誘致や都市計画を担当する都市政策課を整備した。今後、開発案件が提案された際は積極的に誘致に努める。

**問** 11年間の人口施策と増加率は。

産業建設部長 平成

23年から令和4年までの11年間ににおける人口増加率は平成23年12月末時点と令和4年12月末時点では3.1%の増加となっている。主な施策として、子育て支援や学校教育、健康づくりといった施策が功を奏したものと考えている。

**問** 企業増加比率は。

**答** 産業建設部長 工業

統計調査によると扶桑町

内の工業事業所数は平成24年が70事業所、令和2年は68事業所で2.9%減となっている。コロナ禍の影響もあり、工業事業所数はほぼ横ばいで推移しているが、従業員数及び製造品出荷額等は増加している。

**問** 人口増加率と企業増加比率の比較で考えられることは。

産業建設部長 人□

は伸びた中で工業事業所数がほぼ横ばいとなった点については、新規の立地場所が限られている点が大い。今後は、工場等の新規立地が可能となる区域（高雄東部地区）を追加で指定してもらうように県との協議をすすめている。

**問** 新たな拠点づくりの推進の政策は。



(高雄東部地区)

**答** 産業建設部長 企業

誘致や都市計画に関して、都市政策課に一元管理して対応できるよう改めた。「企業立地促進奨励金」や「扶桑町内企業再投資促進補助金」の制度を活用し、企業のさらなる誘致に努める。

**問** 企業誘致による固定資産税増収政策は。

**答** 産業建設部長 固定

資産税については町の施策を支える貴重な一般財源の一つ。企業誘致が進み、新たに家屋や償却資産が生まれれば、固定資産税も増収となる。目標を設けることは難しいが、高雄東部地区等に企業誘致を進め、固定資産税の増収を目指す。



**答** 権限代行者を追加する

**問** 国民保護計画は、我が国に対する外部からの武力攻撃が発生した事態または、武力攻撃が発生する明白な危険が切迫していると認められるに至った事態などにおいて、自ら本町が設定するものだが、基本的な位置づけと改訂に際しての扶桑町国民保護協議会の関わりは。

**答** **生活安全部長** 扶桑町国民保護計画の第1編第1章に町の責務及び町国民保護計画の位置づけについて記載しており「町はその責務に鑑み、町国民保護計画を作成する」としている。扶桑町国民保護協議会は、改訂に際して、町からの町国民保護計画変更についての諮問に対して、協議をし、適当であると認められた。

**問** 安否情報の整理責任者と回答責任者が違う理由は。

**答** **生活安全部長** 安否

情報の収集・整理は生活安全部調査班が行い、調査班の班長は税務課長で責任者は生活安全部長である。また、安否情報の回答・提供に関することは、情報部情報連絡班が行い、班長、責任者とも議会事務局長が行う。なお、情報収集・整理と照会への回答・提供を分ける情報の共有化を徹底することを前提に、各業務を確実に実施していく。

**問** 実践的な訓練を行う考えは。

**答** 生活安全部長 「安否情報システム」を用いて安否情報の収集・提供事務に關し、職員による実践的な訓練を毎年2回実施している。他の実動訓練、図上訓練などは、実施に向け近隣市町の状況を研究し検討していく。

**扶桑町業務継続計画**

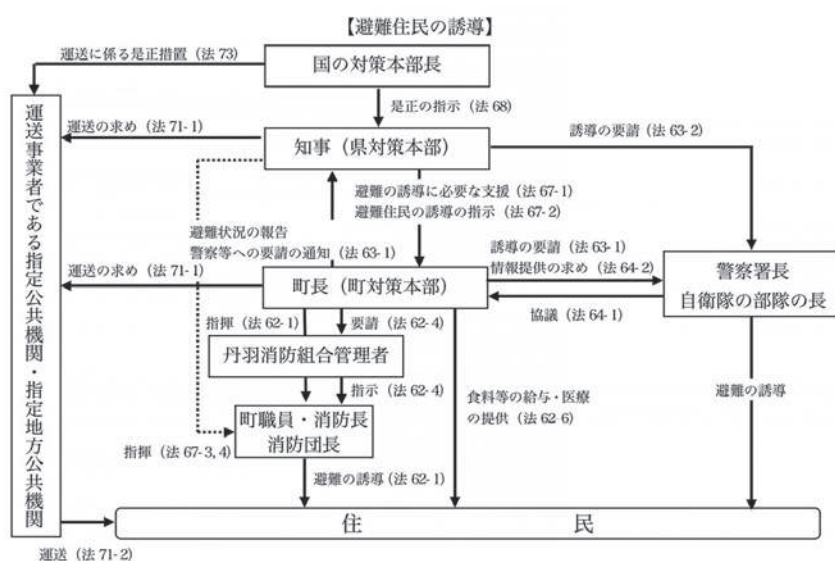
**問** 権限代行者の見直しは。

**答** 生活安全部長 扶桑町業務継続計画における

権限代行者は、第3代行者まで定められているが、その時の状況や経験などを鑑みそれ以下の代行者については発動権限者とする。

**問** 機構改革による変更も考え、見直しては。

**答** **町長** 部長職を中心に代行できるように早急に改定追加する。



(扶桑町国民保護計画より抜粋)



桑政クラブ  
丹羽友樹 議員

# DX 推進の個別計画の策定の考えは

## 答 実情に沿った目標設定が重要

**問** 第5次扶桑町総合計画後期基本計画におけるDX推進の具体的な取り組みは。

**答 総務部長** 情報システムの標準化については、令和7年度までに国が策定する基準に沿ったシステムへ移行できるように準備、対応を進めている。

行政手続きのオンライン化については、補助金の申請等をインターネットから申請が可能かなど、住民サービスの向上に向けた検討を進めている。

情報格差解消に向けた施策の推進については、デジタルに不慣れな人にも分かりやすいデザインの考案など、利用者目線に立った施策を推進し、住民の誰もが取り残されることの無いような制度設計や情報発信を進めていくことが必要であると考える。

**問** 考えられる課題は。

**答 総務部長** デジタルになじみの薄い高齢者などの情報弱者への対応、

住民視点に立った職員全体の意識改革・ITスキルの向上、既存システムの老朽化の対応、戦略的IT投資に伴う財政負担などが挙げられる。

**問** デジタル化の推進のため、企業など外部とのマッチングの考えは。

**答 総務部長** 行政課題の解決を図るため、民間企業等、外部の知見やノウハウを活用することは有効な手段のひとつと考える。当町としては、まず解決すべき課題を整理し、住民サービス向上に繋がる課題解決手段や方法を検討した上で、外部知見の活用についても考えていきたい。

**問** 知識ある人材の確保や職員への研修は。

**答 総務部長** 国や愛知県が実施するデジタル人材確保・派遣に関する情報等に注視し、必要に応じて検討する。職員の研修は、状況に応じて随時行っていきたい。

**問** 児童遊園の管理 借地の割合と1年間にかかるランニングコストは。

**答 教育部長** 43か所の児童遊園の内、37か所が借地である。1年間の管理費用は、土地借上料や整備事業費を含めて、令和4年度で、4165万3634円、令和5年度予算額は、3938万円である。

**問** 利用状況の過去の調査実績は。

**答 教育部長** 実施はしていない。方向性を決める上で、地区への聞き取りなど必要に応じて実施していきたいと考える。

**問** 更新、廃止の考えは。

**答 教育部長** 更新については、施設の老朽化等により適宜、実施している。廃止の考えについては、維持管理費や児童遊園の実態を課題として捉え、その基準や方向性について整理していきたい。

**問** 新たな公園設置の考えは。(都市公園)

**答 教育部長** 子どもたちの健全な育成となるよう、都市公園を含めた公園施設の配置等、研究していきたい。



(辻田児童遊園)

# 総合計画には若い人の意見も



新政クラブ  
千田利明 議員

## 答 取り入れながら策定に繋げていきたい

**第5次扶桑町総合計画に  
みる生涯学習と文化行政  
施策の在り方は**

**問** 総合計画では年齢を10代から10歳単位で、70歳以上までの7区分に分けていたが、後期基本計画では18歳から29歳、30歳から49歳、50歳から64歳、そして65歳以上の4区分である。この2種の調査基準で、統計としての評価ができるのか。

**答 総務部長** 後期基本計画の調査では、統計としての効果が薄まらないよう4区分で集計した。人口構成年齢の推移にもよるが、次回策定時には今回と一定性を保てるよう検討したい。

**問** 総合計画は扶桑町の将来に向けた各種施策の根幹で、指針を示すものであることから、今回のアンケート調査では、18歳未満の若い人たちの考え方も調査し、参考にすべきではないか。

**答 総務部長** 今のところアンケートの実施を決

定する時期ではないが、様々な場面で次世代を担う子どもたちの意見も取り入れながら、計画策定に繋げていきたい。

**問** 文化は、日々の精神的な活動やそれに伴う成果を表すものだと思うが、行政として文化をどのように捉えているか。

**答 教育部長** 文化を通して町民が相互に関わりながら共感し、生きる喜びを見出し、創造性を発揮しつつ文化活動をしていく上で、行政による公的な支援は大変重要なものと

認識している。学習できる条件の整備や、文化活動の発表の場づくりといった町民のニーズに応えて、多様な活動を支えていくことが、行政としての使命と考えている。

**問** 総合計画の25の施策の中で、1番目に重要でない」と評価された『文化・芸術』と、9番目の『生涯学習』の評価に対する対応は。

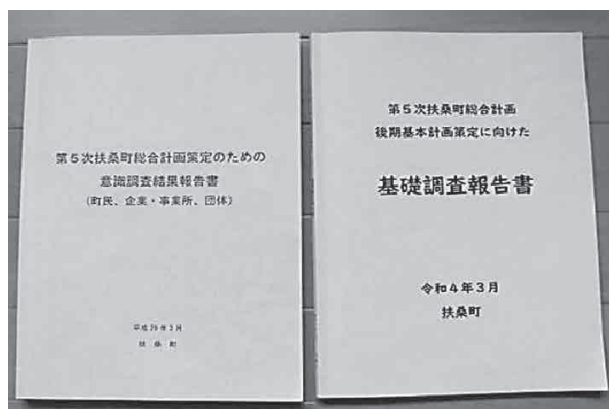
**答 教育部長** 住民の意識として、交通安全や防犯、学校教育などが重要度として優先された結果

と思われる。『文化・芸術』と『生涯学習』については、町民の豊かな生活にとって重要なものと位置づけ、より一層の取り組みをしていきたい。

**問** 新しい文化活動として、子どもたちに『楽しく学ぶ』というイベントを

**答 教育部長** 小学校、中学校、高校の理科の先生や、自然科学に興味のある高校生や大学生の力を借りて、それぞれにテーマを考えていただき、体育館や総合グラウンド等で、応募いただいた方々のブースを設け、子どもたち向けの『みんなで自然科学を学ぶ』というイベントを開催するのはどうか。

**答 教育部長** 提案のイベントは、地域の教育力もお借りしながら、生涯学習講座や家庭教育講演会などで、子どもたちが自然科学に触れ、楽しみながら学ぶことができる企画として、検討していきたい。







新政クラブ  
千田勝文 議員

# 公園、緑地の保全整備方針は

## 【答】 専門知識を有する維持管理業者と連携

**問** 公園、緑地の現状は。

**答** 産業建設部長 都市公園等については、年間を通じて造園業の資格を有する業者に維持管理委託し、樹木の剪定、薬剤散布などを実施。さらに、木曽川扶桑緑地公園については、維持管理業務に加えてシルバー人材センタ―に管理、清掃業務を委託している。他県で発生した倒木事故があり、樹木の状態の調査確認を実施し、樹木の状態は良好であることを確認した。

**問** 木曽川扶桑緑地公園、柏森東山緑地の整備、保全は。

**答** 産業建設部長 木曽川扶桑緑地公園については、キャンプ場や各所にある休憩所など、長時間にわたり利用者が滞在する場所があることに加え、多くの樹木が植えられている。安全確保のために注意看板を設置している。倒木事故発生後は、利用者がより安全に利用できるよう、注意看板を追加

設置した。

柏森東山緑地については、良好な緑地を保全し、未来に引き継いでいくため、この緑地を自然の状態で残し、町民の皆さまが緑とふれあう場所として整備した経緯がある。柏森東山緑地の樹木については、調査の結果、状態は良好であると確認した。

**問** 今後の公園、緑地の整備方針は。

**答** 産業建設部長 公園、緑地については、日々多くの町民の方に利用していただき、木曽川扶桑緑地公園については、町外の方も多く利用いただいている。公園、緑地の倒木事故、その他の事故が発生しないよう今まで以上に注意し、点検、調査

を実施していくが、職員の確認だけでは判断が難しいものもあるので、専門知識を有する維持管理業務の業者と連携し、安心して利用できるよう維持管理、自然環境保全に努める。



(木曽川扶桑緑地公園キャンプ場)

# 特定健診・後期高齢者健診は



日本共産党  
荒木孝三 議員

## 生活習慣病の予防の改善に繋げる

- 問** 目的と健診内容は。
- 答 健康福祉部長** 国民健康保険加入者で40歳から74歳の方、75歳以上の後期高齢者医療の被保険者（いずれも人間ドック受診者を除く）を対象とする。主にメタボリックシンドロームの判定を基に生活習慣病の予防に繋げるための保健指導を目的。健診内容は、基本項目（※）と詳細項目（※）で構成されている。眼底検査については、健診実施機関から委託を受けた上で眼科等の他の眼底検査実施医療機関で検査を受ける。
- 問** 追加健診は。
- 答 健康福祉部長** 厚生労働省から通知された項目となっていることや、医師会との調整も必要となるので追加は難しいと考える。
- 問** 健診結果をどう活かしていくか。
- 答 健康福祉部長** 健診結果を基に糖尿病性腎症重症化予防のために該当者に対し医療機関への受

診勧奨はがきの送付や、健康推進課（保健センター）も特定保健指導を実施している。第3期データヘルス計画の策定において健診結果内容を反映させていく。

※基本項目（問診・身体測定・血圧測定・理学的検査・血中脂質検査・肝機能検査・代謝系検査・尿検査）

※詳細項目（貧血検査・腎機能検査・心電図検査・眼底検査）

（特定・一般・後期高齢者健康診査記録票）

| 氏名 | 性別 | 年齢 | 健康保険種別 | 健診実施年月 | 健診実施機関 | 問診 | 身体測定 | 血圧測定 | 理学的検査 | 血中脂質検査 | 肝機能検査 | 代謝系検査 | 尿検査 | 貧血検査 | 腎機能検査 | 心電図検査 | 眼底検査 |
|----|----|----|--------|--------|--------|----|------|------|-------|--------|-------|-------|-----|------|-------|-------|------|
|    |    |    |        |        |        |    |      |      |       |        |       |       |     |      |       |       |      |

- 問** 補聴器購入助成の考えは。
- 答 健康福祉部長** 各市町村においても、前向きに検討しているが、町としては。
- 問** 各市町村においても、前向きに検討しているが、町としては。
- 答 健康福祉部長** 4月の時点で愛知県内では6自治体が購入費助成を行っている。補聴器を使用することは、自立した生活の維持や介護予防に有効なものと認識している。高齢者の加齢性難聴の課題は予防や悪化を防止する対策が大事と考える。今後、補聴器購入助成制度を含め有効な施策を検討していきたい。
- 問** 高額補聴器購入の支援は。
- 答 健康福祉部長** 対策を検討しているところであり、今後とも町民ニーズを把握し、また各市町の実施状況を確認しながら、高額補聴器購入補助制度について検討する。

- 問** 地域活動
- 問** 町の考えは。
- 答 生活安全部長** コロナ禍以前にいろいろな配慮してきたことも制限がなくなり、今までやれなかったことがやれるようになった。行政としてもコロナ禍以前のような支援を行えるように体制を整えていく。特に本年4月に機構改革を行い「地域協働課」を創設した。
- 問** 児童遊園の管理は。
- 答 教育部長** 駐在員に施設管理主任者としてご協力をいただいている。児童遊園内の設備や遊具の修繕、高い木の伐採などについては、町で行っている。今後においても駐在員と相談しながら情報を共有し対応していく。



日本共産党  
高木義道 議員

# 児童センターの登録は

**答** 現在、1,362名、対象の24%である

**問** 18歳までの子どもが利用できる児童センターの登録、利用実態は。当初想定していた人数と比べて、登録状況は。

**答 教育部長** 6月1日現在の登録者は1,362名。3月末現在の18歳未満の約24%が登録している。登録者数の見込みは具体的にはない。利用者については、総合計画では4万人を目標としている。今後、夏休みなどに登録者・利用者が増えていくと見込んでいる。

**問** 現在の利用実態は。

**答 教育部長** 児童センターは、児童に健全な遊びを提供するとともに健康を増進、情操を豊かにすることを目的とする児童厚生施設である。平日の午前中は、子育て支援センターなどで未就園児の親子の利用が中心。平日の午後は、下校後の児童・生徒を中心に利用されている。土日祝日には「親子ヨガ」「将棋で遊ぶ」などのイベントを実施

**問** 世代間の交流についてはどうか。

**答 教育部長** 誠信高校生のボランティアによるイベント「ボードゲームしよう」では高校生が小学生にゲームを教え、楽しく交流できる場となっている。



(扶桑町児童センター内、子育て支援センター他)

「チョイソコふそう」は

**問** 本格始動に向けての問題点は。

**答 生活安全部長** 実証運行では外出しにくい高齢者の外出支援、外出促進を目的として実施。高齢者の移動手段として定着し、「チョイソコふそう」のおかげで外出できるようになったとの声も多く、その効果は大きい。今年10月からは本格運行として定着させることが重要。「チョイソコふそう」が町の当たり前の公共交通として定着し、住民・利用

者のニーズに向き合い、より快適な移動環境を目指す。

国民健康保険税は

**問** 高い国保税で、滞納・差押えが発生している。値上げ等、国民健康保険の今後の動向は。

**答 健康福祉部長** 高所得者の所得に応じた保険料算定を行い、課税限度額102万円から2万円引き上げる。現在、一般会計から3500万円を国保会計に繰り入れているが、令和6年度以降は繰入を行わない方針である。

**問** 国保税軽減の方策は。

**答 健康福祉部長** 令和4年4月から、未就学児の軽減制度が始まり、未就学児の均等割保険税の半額が軽減されている。国保税軽減の方策として、特定健診や人間ドックの受診率向上などによる医療費の歳出抑制が、保険税の負担軽減につながるものと考えている。



## ☆キラリ☆

## まち人 紹介

## 期待しています



福原知哉さん(25) 高雄福塚在住 会社員

住民活動団体「フレフレソウ」を立ち上げ、代表を務めています。私は扶桑出身在住ですが、高校大学と進学するにあたり、扶桑町の知名度の無さに驚くとともにもどかしさを感じました。そこで少しでも扶桑町を有名にしたい、盛り上げたいと思い、SNS (Instagram中心) に扶桑の魅力を発信したり、イベントの主催や町のイベントに参加しています。ぜひフレフレソウのInstagramをご確認ください。これからも楽しみながら扶桑町を盛り上げていきたいと思っています。



高橋怜央さん(32) 高雄下山在住 会社役員

よさこいチーム「笑舞」の代表を務めており、扶桑町の文化を広めるために様々な活動をしています。扶桑町制施行70周年記念PV制作では監督を務め、令和5年度全国広報コンクール映像部門で【佳作】(愛知県では【特選】)に選出されました。活動を通じて、扶桑町を愛し、扶桑町の人々とともに成長したいと考えています。また、令和5年4月に株式会社エールブルーを立ち上げました。これからも地域貢献・扶桑町の力になるために全力を尽くしていきます。

## 議会改革特別委員会の主な活動

議会運営部会では ※災害対策会議設置要綱、指針の決定。

運用については実証期間1年を設け、正式に運用していきます。

広報広聴部会では ※10月に扶桑中・北中学校との意見交換会を予定しています。



## お知らせ



【お詫び】議会だより255号「☆キラリ☆まち人紹介」コーナーにおいて、名前の誤りがありました。  
誤 伊藤恵理さん  
正 伊藤恵里さん  
訂正してお詫び申し上げます。

## 「会議録検索システム」インターネット配信

扶桑町役場ホームページで議会会議録をインターネット配信していますので、ご利用ください。

扶桑町役場  
ホームページ

↓  
扶桑町議会

↓  
扶桑町議会  
会議録検索システム



●6月定例会分は、9月1日に更新を予定しています。

## 9月定例会の日程(予定)

|          |                    |
|----------|--------------------|
| 9月 1日(金) | 開会・提案説明            |
| 9月 7日(木) | 一般質問               |
| 9月 8日(金) | 一般質問               |
| 9月11日(月) | 議案質疑               |
| 9月12日(火) | 予算決算特別委員会(総務経済所管分) |
| 9月13日(水) | 予算決算特別委員会(福祉教育所管分) |
| 9月14日(木) | 総務経済常任委員会          |
| 9月19日(火) | 福祉教育常任委員会          |
| 9月20日(水) | 常任委員会予備日           |
| 9月27日(水) | 委員長報告・討論・採決・閉会     |

場所: 扶桑町役場2F議場 時間: 午前9時30分から  
(日程は変更になることがあります)